

2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年11月11日

上場会社名 株式会社NFKホールディングス 上場取引所 東
 コード番号 6494 URL http://www.nfk-hd.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 豊田 悦章
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 神戸 英昭 TEL 03(6419)7497
 四半期報告書提出予定日 2022年11月11日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

1. 2023年3月期第2四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	1,051	11.9	54	82.5	74	106.8	68	171.0
2022年3月期第2四半期	939	△10.4	29	5.5	36	9.7	25	△12.6

（注）包括利益 2023年3月期第2四半期 63百万円（322.6%） 2022年3月期第2四半期 15百万円（-％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	1.56	—
2022年3月期第2四半期	0.67	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第2四半期	5,241	4,280	81.7
2022年3月期	4,584	3,704	80.8

（参考）自己資本 2023年3月期第2四半期 4,280百万円 2022年3月期 3,704百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2023年3月期	—	0.00			
2023年3月期（予想）			—	0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,300	18.2	100	12.3	100	△33.3	90	△29.6	2.04

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社 （社名）、除外 ー社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期2Q	44,051,274株	2022年3月期	37,913,342株
② 期末自己株式数	2023年3月期2Q	419株	2022年3月期	419株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期2Q	44,050,855株	2022年3月期2Q	37,912,923株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報)	8
(重要な後発事象)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（2022年4月1日から2022年9月30日まで）における我が国の経済は、新型コロナウイルス感染症の急速な拡大がみられたものの、まん延防止等重点措置等の行動制限が取られなかったことから、厳しい状況ながらも経済活動の正常化に向けた動きが見られました。しかしながら、中国の一部都市でのロックダウンの影響、ウクライナ危機に伴う原油価格の高騰や物価の上昇、世界的な金融引き締め等を背景として急激な円安の進行や長期化している半導体の供給不足等、先行きが不透明な状況が継続しております。

このような状況の中、当社グループでは2020年4月に策定した「新中期経営計画」に基づき、2022年度までの3年間を2023年度に向けた成長基盤確立のための期間と位置づけ、「事業基盤の強化」、「成長戦略を支える強固な経営基盤の構築」、「環境・社会・ガバナンスを重視した経営」の3つの経営基本方針を掲げて全社を挙げて取り組んでまいりました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高10億5千1百万円（前年同四半期比11.9%増）となりました。また、利益面につきましては、工業炉部門において追加原価が発生したものの、その他の部門は比較的順調に推移したことから、営業利益5千4百万円（前年同四半期比82.5%増）、経常利益7千4百万円（前年同四半期比106.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益6千8百万円（前年同四半期比171.0%増）となりました。

セグメントごとの業績を示すと、次のとおりであります。

（a）工業炉燃焼装置関連

工業炉燃焼装置関連事業につきましては、当第2四半期連結累計期間の売上高10億5千1百万円（前年同四半期比12.0%増）となりました。また、利益面におきましては、営業利益5百万円（前年同四半期は営業損失2千1百万円）となりました。

（b）その他

その他の事業につきましては、子会社からの不動産賃貸収入、経営指導料等が収益の中心となっております。当第2四半期連結累計期間につきましては、売上高は1億3千8百万円（前年同四半期比1.5%増）、営業利益は1億2千7百万円（前年同四半期比0.9%減）となりました。

（2）財政状態に関する説明

（資産）

当2四半期連結会計期間末の資産は、前連結会計年度末に比べて14.3%増加し、52億4千1百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べて4.8%増加し、23億9千9百万円となりました。主な内訳としては現金及び預金が2億2百万円の減少となったこと、受取手形、売掛金及び契約資産が2億9千4百万円増加したことによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて23.9%増加し、28億4千1百万円となりました。主な内訳としては投資有価証券が5億5千2百万円増加したことなどによります。

（負債）

当第2四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べて9.2%増加し、9億6千万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べて79.7%増加し、5億8千8百万円となりました。主な内訳としては支払手形及び買掛金が5千1百万円増加したこと、1年内返済予定の長期借入金2億円増加したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて32.6%減少し、3億7千2百万円となりました。主な内訳としては長期借入金2億円減少したことなどによります。

（純資産）

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べて15.6%増加し、42億8千万円となりました。第三者割当増資等により資本剰余金が5億3千4百万円増加したこと、また、親会社株主に帰属する四半期純利益6千8百万円を計上したことなどによります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

我が国経済の先行きにつきましては、新型コロナウイルス感染拡大については落ち着きを見せる一方で、長期化する半導体の供給不足や部品供給の滞りなど世界的なサプライチェーンの混乱による工場の操業縮小や停止、原油・原材料価格の上昇によるコスト増に加え、ウクライナ情勢の深刻化や急激な円安の進行がみられるなど、国内外の経済は不透明感が益々高まる状況となっております。このような状況の中、当社グループでは2020年4月に策定した「新中期経営計画」に基づき、「事業基盤の強化」、「成長戦略を支える強固な経営基盤の構築」、「環境・社会・ガバナンスを重視した経営」の3つの経営基本方針を掲げて全社を挙げて取り組み、年度計画の実現に向け全力で取り組んでまいります。以上を踏まえ、2022年3月期の業績予想につきましては、売上高は23億円、営業利益は1億円、経常利益は1億円、親会社株主に 帰属する当期純利益は9千万円を見込んでおります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,420,739	1,218,279
受取手形、売掛金及び契約資産	600,621	895,307
仕掛品	44,720	60,082
原材料	185,872	177,249
その他	38,738	48,667
流動資産合計	2,290,693	2,399,587
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	168,227	164,723
機械装置及び運搬具(純額)	19,166	17,155
土地	768,883	768,883
その他(純額)	16,226	20,066
有形固定資産合計	972,503	970,828
無形固定資産		
ソフトウェア	5,076	3,620
無形固定資産合計	5,076	3,620
投資その他の資産		
投資有価証券	1,054,059	1,606,732
長期貸付金	249,000	249,000
破産更生債権等	60,137	59,837
その他	12,791	11,723
貸倒引当金	△60,137	△59,837
投資その他の資産合計	1,315,851	1,867,456
固定資産合計	2,293,431	2,841,905
資産合計	4,584,124	5,241,492

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	220,817	272,396
短期借入金	15,000	12,000
1年内返済予定の長期借入金	—	200,000
未払法人税等	2,884	3,312
賞与引当金	—	20,358
完成工事補償引当金	11,360	28,202
その他	77,406	52,354
流動負債合計	327,468	588,623
固定負債		
長期借入金	240,000	40,000
再評価に係る繰延税金負債	196,601	222,454
退職給付に係る負債	97,343	90,283
その他	18,233	19,274
固定負債合計	552,178	372,011
負債合計	879,646	960,635
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	2,807,508	3,341,508
利益剰余金	346,655	415,264
自己株式	△210	△210
株主資本合計	3,253,953	3,856,562
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,008	3,632
土地再評価差額金	446,516	420,663
その他の包括利益累計額合計	450,524	424,295
純資産合計	3,704,477	4,280,857
負債純資産合計	4,584,124	5,241,492

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
売上高	939,496	1,051,217
売上原価	666,410	762,294
売上総利益	273,085	288,923
販売費及び一般管理費	243,287	234,527
営業利益	29,798	54,395
営業外収益		
受取利息及び配当金	553	1,913
持分法による投資利益	—	14,249
為替差益	37	2,222
貸倒引当金戻入額	300	300
助成金収入	10,125	—
その他	3,766	2,855
営業外収益合計	14,781	21,541
営業外費用		
支払利息	623	591
持分法による投資損失	7,822	—
その他	—	635
営業外費用合計	8,446	1,227
経常利益	36,133	74,709
特別損失		
事務所移転費用	2,088	2,687
特別損失合計	2,088	2,687
税金等調整前四半期純利益	34,044	72,022
法人税、住民税及び事業税	8,723	3,413
法人税等合計	8,723	3,413
四半期純利益	25,321	68,609
親会社株主に帰属する四半期純利益	25,321	68,609

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益	25,321	68,609
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	△10,179	3,874
持分法適用会社に対する持分相当額	—	△8,501
その他の包括利益合計	△10,179	△4,626
四半期包括利益	15,141	63,982
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	15,141	63,982
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当該事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

2022年5月20日開催の取締役会決議により、2022年7月22日付でZ株式会社を割当先とする第三者割当による新株式の発行（現物出資）を行い、資本金及び資本準備金がそれぞれ267,000千円増加いたしました。なお、同日付で資本金の額の減少（減資）を行い、資本金を267,000千円減少し、その他資本剰余金へ振り替えた結果、当第2四半期連結会計期間末において、資本金が100,000千円、資本剰余金が3,341,508千円となっております。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

当社は、当第2四半期連結会計期間において、Z株式会社の株式を取得したことにより、同社を持分法適用の範囲に含めております。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間（自 2021年4月1日 至 2021年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	工業炉燃焼装置 関連	その他	計		
売上高					
外部顧客への売上高	938,596	900	939,496	—	939,496
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	135,000	135,000	△135,000	—
計	938,596	135,900	1,074,496	△135,000	939,496
セグメント利益	△21,191	128,605	107,414	△77,615	29,798

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△77,615千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間（自 2022年4月1日 至 2022年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	工業炉燃焼装置 関連	その他	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,051,217	—	1,051,217	—	1,051,217
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	138,000	138,000	△138,000	—
計	1,051,217	138,000	1,189,217	△138,000	1,051,217
セグメント利益	5,140	127,400	132,540	△78,144	54,395

(注) 1. セグメント利益の調整額△78,144千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません